エロマンガ島

人妻教師狩り

ひとづまきょうし

先生、旦那の前でこんなに濡れてますよ？

OUMA



自撮り人妻教師

濡れ堕ちていく

完全版




あっ
あっ
あっ
ビクッ
ビクッ
ゲキュッ
んっ
グニッ
グチュ
こんなこと
しちゃダメだって
わかってるのに…
んっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
イ…
イクッ…!!
はぁ
はぁ
んあぁ
あ！


スッ
ん
ヴヴヴ
ヴヴヴ
見て…
私のいやらしい
姿を…!!
はぁ
はぁ
カリッ
今日も職場で
こんなことしちゃった！
ピッ
ツブ
ワシャ
んっ


どんな
リプライ
くれるかな？
スッ
ピコン
18:48
@イツキさん他10人が
リツブートしました。
スッゴイ
楽しみ…
ピコン


1-A
ここで老婆の話を聞いた
下人は心境を
変化させるわけだけど…
現代文
今日はここまで
続きは次回にしましょう
スッ
平賀　真冬
1−Aの担任教師
俺昨日も
真冬先生
オカズにしちゃった
よ…
スッ


職員室
ふぅ…
キィィッ
平賀先生
はいっ！
あっ
国武先生
国武　彰隆 教頭
真冬の学生時代
の担任
どうかね
母校で教鞭をとる
気分は？
もう慣れたかい？
えぇ まだ
少し緊張しますけど…
まぁじきに
慣れるさ
そうかそうか…
ムッ
困った事が
あったらなんでも
相談しなさい
はい
ありがとうございます


はぁ…
困った事か…
ねぇ…
たまには…
悪い…
今日は疲れてるから…
まさかセックスレスだなんて相談するわけにいかないわよ…
でも…
コソ…
私にはツブッターがあるもん
わっ!!
RTが100超えてる!!
リプライもいっぱい来てるし
102 リツブート
超エロイー！！
いいね！


あぁ快感…
これだから
やめられない!!
ピコン
LINEに
メッセージが
届きました。
んっ？
えっと
『仕事中だから
またあとで!!』
って
ピッ
イツキ
今なにしてるの？
あっ


ピコン
イツキ
今からそっちに
行くね
？何言ってるの？W
ピッ
平賀先生…
ちょっといいですか？
失礼します
ガラッ
眞角　晃樹
真冬のクラスの生徒


眞角君
どうしたの？
あのちょっと
相談があるんです
けど…
何？何の
相談…？
ここじゃ
ちょっと…
じゃあ
面談室に
行こうか
入って
ここならいいでしょ？
で相談って
何？
カタヤ
…先生…


やっと二人きりになれましたね…
ニヤッ
えっ？
どういうこと？
んっ!!
んん!!
ちょっ!!


んっ
んんっ
ハ
ビリッ
な何の
つもり!!


あ~れ~!?
身に覚えがありませんって
てか!?
?
スノーさん
えっ!?
なんで…


何のこと!?
意味が全然…
なんで眞角君がこの画像を…!?
人を呼ぶわよ!!
やだなー僕のことわすれちゃったんですか?
ピッ
ピコン
ビクッ
『イツキ』ですよ
気付きませんでしたか?
!!
ピコン


え…？
嘘…
でしょ…
イツキさんが
眞角君!?
ウソ…
そんな…
ニヤアッ
あっ…
ギンッ
ギンッ
!!
これでハッキリ
しましたね…
ち●ぽしゃぶるの
大好きって
言ってましたよね
スノーさん…
いやっ
平賀先生っ!!
ビクッ
ズリ


自分が何してるか
わかってるの!?
冷たいなぁ…
いつもみたいに
優しくしてください
よ…
ネットじゃもっと
エロかったじゃない
ですか…
先生がネットであんな事
してるなんて
バラされたら困るでしょ？
だつだめ…
誤魔化せない…
……


ダンナさんにも
かまってもらえなくて
淋しいって言ってたじゃ
ないですか
ゴクッ
ヤリッ
ギュッ
ギュッ


あんな画像が
出回って噂になったら…
ペロッ


ほら！
ちゃんと奥まで
咥えてくださいよ
んくっ
大きいっ…!!
チュパ
チュパ
んっ
ぐぽっ
コンコン
ビクッ
平賀先生!?
ここですか？
っ教頭!!
電話ですよ
ニヤ


じゃあ今日はここまでにしておきますか
カチャ
カチャ
!!
続きはまたね…
!!!
ヴァアアア


どうしよう…
私もう生きて
いけない…
あんなこと
しなければ
良かった…
二ヶ月前…
@イツキ
スノーさんのエロイの
みたいよー
@スノー
何いってんのー！
@イツキ
お願いっ！！
えーどうしよう
しょうがないなぁ…
でも…
一回だけなら…
こんな感じで
いいか？
ピッ
ピコン
ピコン
やだ…
これなんか
こわいな…
えっ!?
やっぱり
消しちゃおっ!!
ピッ


ピコン
23:32
ダイレクトメッセージが届いています。
珍しくDM…
@イツキ
消さないでくださいよー！！
あっ
イツキさん
だ…
ピコン
ピコン
そんなこと
言われても…
ガチャ
罪悪感で
いっぱいだ…
でもこんなこと
翔太に相談できる
わけないし…
ピコン
LINEに
メッセージが
届きました。


君達何組の生徒だ？
スカート短すぎだぞ！
ワッ
おはよう！
今日もキレイだね…
おや？
何か元気が無いようだけどどうかしたかい？
おー平賀君!!
表情に出ちゃってるのか
ちょっと寝不足で…
失礼します…


相川君…
井上さん
キラ
上沢君…
カリ
面談室
キョロ
キョロ
スッ
約束通り来てくれたんですね…先生…
ガラッ


眞角君…
あんなメッセージで
呼び出して
何のつもり…
わかりきったこと
聞かないでくださいよ
スノーさん
こっ…こんな
脅迫みたいなこと
もうやめなさい！
脅迫!?
これは取引ですよ!!
LIMEで言った
あの下着 ちゃんと
着けてきてくれました？
言うことさえ
聞いてくれれば
ツブッターでのことは
口外しません…
学校や旦那さんに
知られたら
困りますよね…？
そっそれは…


ほら！早く
見せてくださいよ!!
キャッ!!
ヒャーッ!!
そうそう！
これが見たかった
んですよ！
やめなさい!!
グイッ
グイッ
ニヤッ
スノーさんが
アップしてた
下着!!
やっと生で
見れました!!


ジロッ
ちょっ…
手を離してっ!!
ニヤ
ガシッ
キャアア!!
ビリッ
上はこうなってたんですね
中はどうなってるのかなぁ?
ビクッ


キャッ!!
ガバッ
眞角君…
学校で
こんなこと…
何言ってるんですか!!
!!
クイッ
ちょっ!!
ホロン
散々教室で
オ●ニーしといて…
グニッ
グニッ
ホラホラ
こんなにイヤラシイ
体を持て余してるん
でしょ!?
そんなっ
そんなことない!!


ビクッ
クリッ
クリッ
ホントに？
はむっ
あっ
グンッ
あっ
グンッ
あっ
こんなに
強引にされてるのに
…何…
この快感…
ビクッ
じゅぷっ
ビクン
…だめ！
私には
翔太（夫）がいるのよ…
ちゅぱ
じゅるっ
んっ
ギュッ
んっ
でも体…
勝手に反応して…
声が…
グッ
キャうんっ♡
ちゅぱっ
もれちゃうっ!!
んっ


やだっ！変な
声がでちゃった…
かあああっ


今までこんな
こと…
ギュッ
クスクス…
いいですよ
その反応…
スゴく
敏感なんですね
ビクッ
ギュッ
あっ！
ビクンッ
クイッ
こっちは
どうなってるのかな？


オホッ！
ここにもキレイな
桜色っ！
キャッ！
ぱあ
いやっ！
やめて!!
なんか
可愛く
なっちゃって…
何してるの!?
だめよ…
ニヤッ
!!
んあぁあ!!


ズボッ
んっ！
ズッ
だめ!!
声がでちゃう！
グッ
自分でするのとも
翔太にされるのとも
全然違うっ…
んっ
んっ
ズッ
ズッ
こんなに激しく
無理やりされてるのに
こんなに
ヌレてる…
学校で生徒に
やられてるのにっ!!
私…
最低だ…
ズッ
ズッ
あれ？
びしょびしょじゃ
ないですか!!
よほど我慢して
たんですね
可哀想に！


我慢せずに
声をだしていんですよ
ガッ
ガッ
んっ
んっ
ガッ
ビクッ
んっ
そんな事
出来るわけないでしょ！
ビクッ
眞角君のが中で
ドンドン大きく
なってきてる
苦しい…
頭がボーッとして…
よく考えられ
ない…


あっ！
もうだめっ！
見ないでー!!
ビクン
ビクッ
ズキュ
ズキュ
ビクン
ドクドクドク
んんっ！
スッ
ピクッ
ピクッ
ハイ
撮るよー
スッ
カシャッ
(はあ)
(はあ)
キレイだよ
先生…


どうしよう…
生徒にあんなことされて…
ドキッ
ドキッ
……
はぁ…
落ち着いてよく考えないと…
スッ
おっお帰り
何これ!?
どうしたの?


何って真冬
誕生日だろ？
今日さ…
普段何も
構ってやれない
から今日くらい
な…
翔太が私の為に
こんなにしてくれるのに
私は…


どうした？
えっ!?
かっ
感動してるんだよ！
ありがとう…
よしじゃあ
食べようぜ
ピンポーン
どちら様ですか…？
ガチャ
こんな時間に
誰…？
えっ…
まっ眞角くん…!?


うそっ
どうして…
どうして
眞角君が
ここに!?
ハッピーバースディ…
先生 誕生日
だったんでしょ?
んっ?
お客さん?
うっうちのクラスの
生徒なんだけど…


こんな時間に
すみません…
でも
どうしても
先生に聞いて
欲しい話が
あって…


そうね…
話だけなら…
ギュッ
いいんですか？
じゃああがってもらえよ
真冬…
ビクッ
ズッ
そうかぁ
進路の
悩みかぁ…
俺にもあったなぁ
そんな時期
えぇ専門学校に
行くか大学に
いくか…
オープンキャンパスとか
説明会にドンドン参加して
じっくり見てみると
いんじゃないかな？
チラッ
そっか…
そうですね
色々見て決めたいと
思います
ジッ


よしじゃあ
眞角君も
食べて食べて
はい
いただきます
スル
スル
ピクッ
へっ
!!
クイッ
ビクッ
クイッ
ビクッ
うそっ!!
こんなとこで
何考えてるの!!
クンッ
クンッ

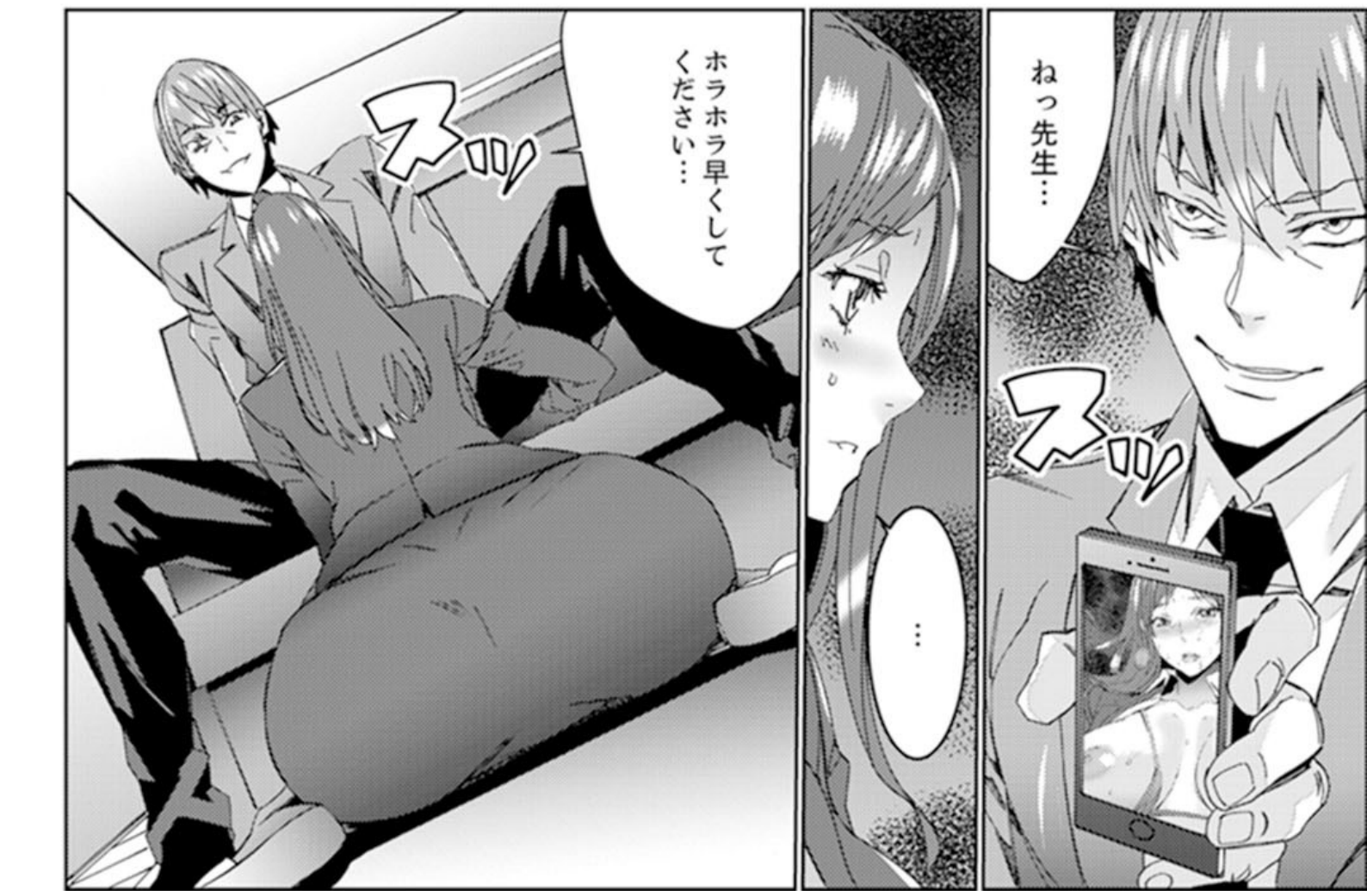

チラ
何でそんなに平然としてるの!!
モグッ
モグッ
ニヤッ
どうしたんですか？先生食べてないじゃないですかすごく美味しいですよ
ちゃんと食べてるわよ
自然にしなきゃ…
プルッ
プルッ
翔太に気付かれる…
パクッ
ビクッ
だめっ…翔太にバレないようにしないと…
こんな事見られたら全てが壊れちゃう!!
？
本当!!凄く美味しいっ…


ギュッ
早く
やめさせないと
ズッ
指が中に
入って…!!
んっ!!
!!
グチュッ
グチュッ
声が…
出ちゃっ…
…んっ
ビクッッ


ビクッッ
もぞっ
真冬…?
どうかした?
もぞっ
何もないわよ
…っあ
ビール無くなった?
取ってくるね
ガタッ


もう調子乗って飲み過ぎて…
ぐー
ぐー
ぐー
ぐー
眞角君もそろそろ帰りなさい
部屋キレイにしてますね
眞角君!?
へー
帰ってあげてもいいですよ
……
スッ


なっ！
あっ…
あなた正気!?
先生がここで
しゃぶってくれたらね
ギッ
ギッ
今までのこと…
旦那さんが知ったら
悲しむだろうなぁ…
ぐー


ねっ先生…
…
ホラホラ早くして
ください…


…
スッ
どうしよう
こんな事…でも
やらないと大人しく
帰ってくれなさそう…
クイッ
キャッ
んっ
グポッ
旦那さんが
そこで寝てると
興奮するでしょ？
んっ
グッ
グポッ
んっ
そんなわけ
ないでしょ!!
プハッ
僕はねぇ
すごく興奮してます


こうやって
先生の家で…
旦那さんの
寝てる横で
先生にしゃぶらせる事が
出来るなんてね
ぐー
ぐー
キャッ！
!!
ズッ
先生も
興奮するでしょ？
ニヤ


そんなわけないでしょ!?
いい加減にして!!
キャッ
本当に!?
クイッ
あ
ビクッ
ホラこんなに
グチュグチュに
してるじゃん
ヘロッ
クイッ
ビクッ
グチュ
クニッ
グチャ
んっ
クニッ
いやっ!!
スー
スー
んっ


だめっ！
ブイッ
ポロンッ
いやっ!!
グイッ
グッ
ズッ
ん!!
ペロッ
んっ
ズー
グッ
グッ
あっ
ズー
ちょっ！
それはだめっ！
本当にっ
んっ
ズチュ
ズチュ


んっ
グニッ
グニッ
クイッ
ペロッ
ビクッ
ああん
ふぅん…
先生はここが
弱点なんだ…
ペロッ
えっ！なに!!
これ…ちょっと
舐められただけ
なのに…
ビクッ
ペロッ
あん
ちゅぱっ
ペロッ
ちゅぱっ
あん
あん


!!
ビリッ


トイレ…
フラ…
サッ
フラ…
翔太…!!
……


良かった
寝ぼけてるから
気付かなかった…
？
ゴッ
ゴッ
!!
ズッ
グイッ
なっ!!


翔太がいるのに！
クイッ
ジャア子
あれ？
まだ相談中？
ビクッ
そっそうなの…
どのオープンキャンパスに
いくかとか…


中々決まらなくて…
フーン…
そっか…
グッ
悪いけど
俺 先に寝るね…
ギュッ


ううん…
お休みなさい…
お休み…
ふぁあぁ
帰り遅く
なるようだったら
送っていけよ…
バタン
ホッ
気付かれなくて
良かった…
キャッ!!


ちょっ！
いやっ！
やっと二人きりに
なれたね先生…
スゲー
ドキドキして
興奮したぁ
スッ
グニッ
いやっ！
あっ
グニッ
まーた
そんなこと
言って！
こんなに
濡らしてる
くせに！
グイッ
うそっ！
どうして
濡れてるの…
ビクッ
あっ
クイッ


また欲しいんでしょ？
私の体…こんなんじゃ…
グチュ
グチュ
んっ!!
ビクッ
グチュ
ビクッ
グチュ
ちっ違う!!
グッグッ
んっ
んっ
私はそんなこと…んあああっ！
ズボッ!!!
おぉっ先生っ凄いよ！ヌルヌルだ！
んんっ!!


んっ!!
やだそんな…
スゴイ奥までっ…
あっ
んっ
すごいところまで
入ってかき回されるっ!
んっ
ズッ
んっ
ズッ
すぐ近くで
翔太が寝てるのよ!
んっ
ガクッ
絶対に声
出せない!
ガクッ
んっ
でもスゴイ
激しくて
声が…
ズッ
ズッ
もれそうっ!!
先生っ
凄く気持ち
いいよ!
んっ
グッ
んっ
ぎゅうぎゅう
締め付けられて!!
グニッ
グニッ


いやっ私…
こんなつもりじゃ
なかった…
ズッ
ズッ
んっ
本当に
んっ
先生っ！
出すよっ！
んあ
グイッ
んっ!!
ビクン!!
んんっー！
だめっ!!
あふっ…


真冬先生
おはよう！
まさか家にまで来て
あんな事するなんて…
ふぅ…
もぞっ
もぞっ
おや何か
顔が赤いけど
風邪かい？
ビクッ
えっ!?
そうですか？
体調はいんですけど…
あっそろそろ授業が
始まるので失礼します…
キィッ
スッ
あぁそうか
無理しない
ようにな
ありがとう
ございます
I-A
もぞっ
もぞっ
それじゃあ
前回の続きから
読んでもらおうかな

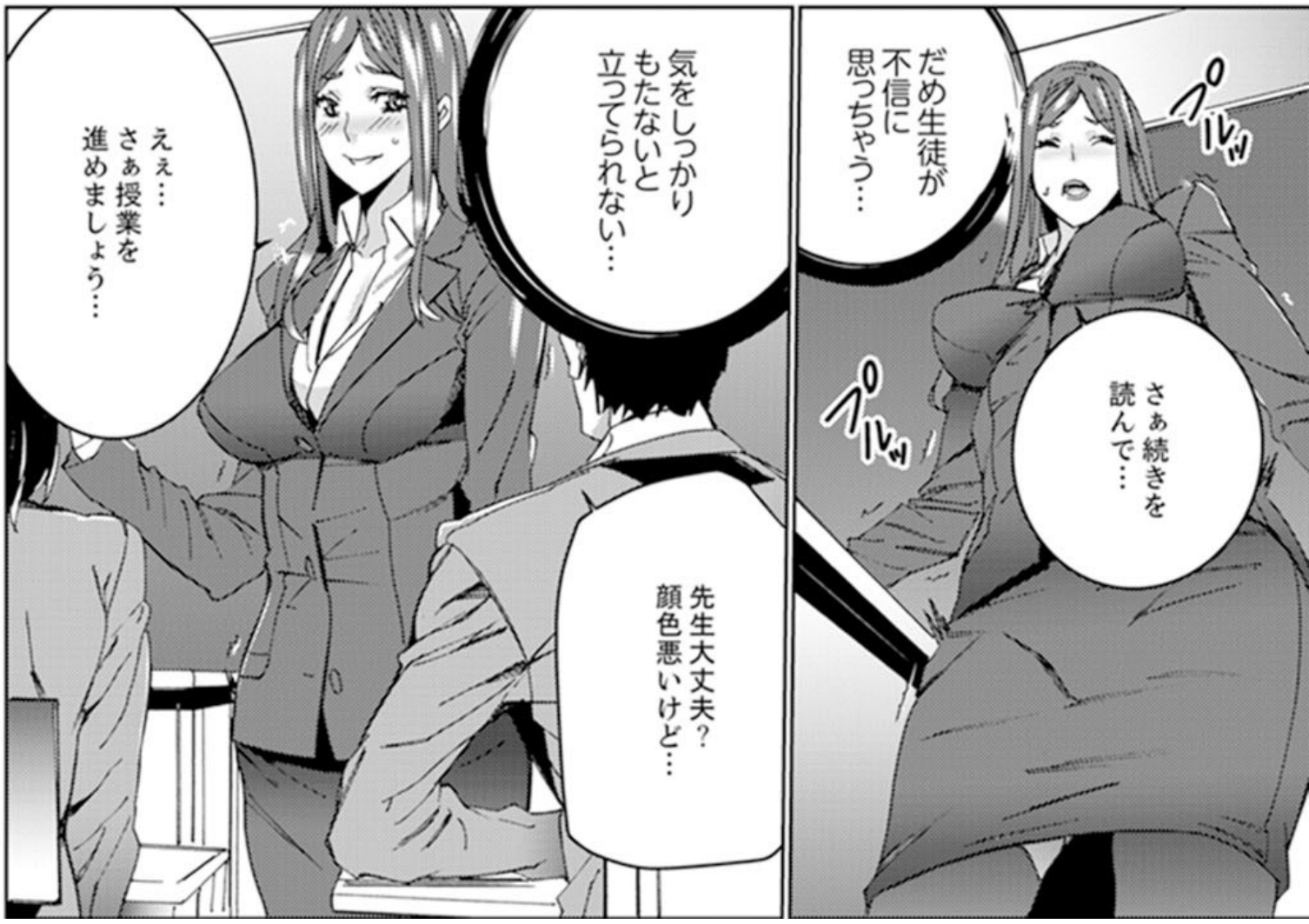

えーっとじゃあ
老婆の話が…
ビク
キョロッ
もぞっ
もぞっ
ニヤッ
上沢君
お願い
はーい
ここで筆者が
伝えたいことを知るためには
この段落の役割を…
えっ!?
現代文
うそ!!
何!?
ビクッ!
ブブッ
んっ


先生…？
……
何で!?
勝手に
動き出したの!?
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ごめんなさい
大丈夫よ…
ちょっと立ちくらん
じゃって…
さぁ授業
進めましょう
ニヤッ
あれは？


それじゃあ
また明日ね
先生…
スッ
そうだ
忘れてたけどこれ
誕生日プレゼント…
スッ
それ明日絶対に
付けてきてね…
じゃないと…
ね…
お邪魔しました…
バタン


何か嫌な
予感しかしない…
ゴクッ
何だろう…
これ…


ビクッ
ビクッ
ビクッ
ひっ！
眞角君がリモコンで操作してるの!?
やだっ！どんどん強くなってる…
ブブッ
ブブッ
ブブッ
カチッ


だめ生徒が不信に思っちゃう…
さぁ続きを読んで…
プルッ
プルッ
先生大丈夫？顔色悪いけど…
気をしっかりもたないと立ってられない…
えぇ…さぁ授業を進めましょう…


ガマンよ…
ガマン…
さらに激しく
振動してる!!
だめ…もう
!!
ガッガッ
ガッガッ
カチカチ
カチカチ
ブブッ
ブブッ
ガッガッ
出来ないっ!!
ビクッ
ビクッ
もう…
ガマン…っ!!
ガッガッ


だめ
動けない…
プル
ビクン
ビクン
プル
スッ
スッ
先生!!
大丈夫ですか!?
ビク
ビク


保健室に行きましょう
ま…眞角くん…
はぁっ
はぁっ
ごめんね…
皆…自習してて…
ヨロッ


……
バタン
何とか
気付かれずに
すんだけど…
!!
グイッ
えっ！
眞角君…
あなたはこれを
楽しんでるの？
バターンッ
…眞角君
こんなところに
連れてきて
これ以上
何がしたいの…


そんな顔しないでくださいよ
このプレゼント気に入ってくれた？
あっ
ビクッ
カチッ
グイッ
んっ
すごいでしょ？
グイッ
グイッ
スッ
それよりどう？


もういい加減にし…
んぐっ!!
グッ


んくっ
チュパ
んっ
いやっ!!
プハッ
バッ
グイッ
チュパ
チュプ
グブッ
グブッ
んくっ
おぉ凄い凄い
ビショビショだ
あ
ビク
グイッ
あ
ビク
グブッ
グブッ
ドロッ


大勢の生徒の前でイクってどんな気分だった？
快感だった？
あ
あ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ブブッ
ブブッ
グイッ
そんなわけないでしょ！
んっ
あっん
ピクッ
ピクッ
グッグッ
あぁん!!
ビクッ
ポン!!
プシーン
ドロッ
こんなにビショビショにしといて？


ビクッ
はあ…
はあ…
ちっちがう
私は…
ぺたんっ
何が
違うの？
ズッ
グッ
教えてよ!!
んあ!!
ズズッ
ガタッ
んっ？
なんだ？

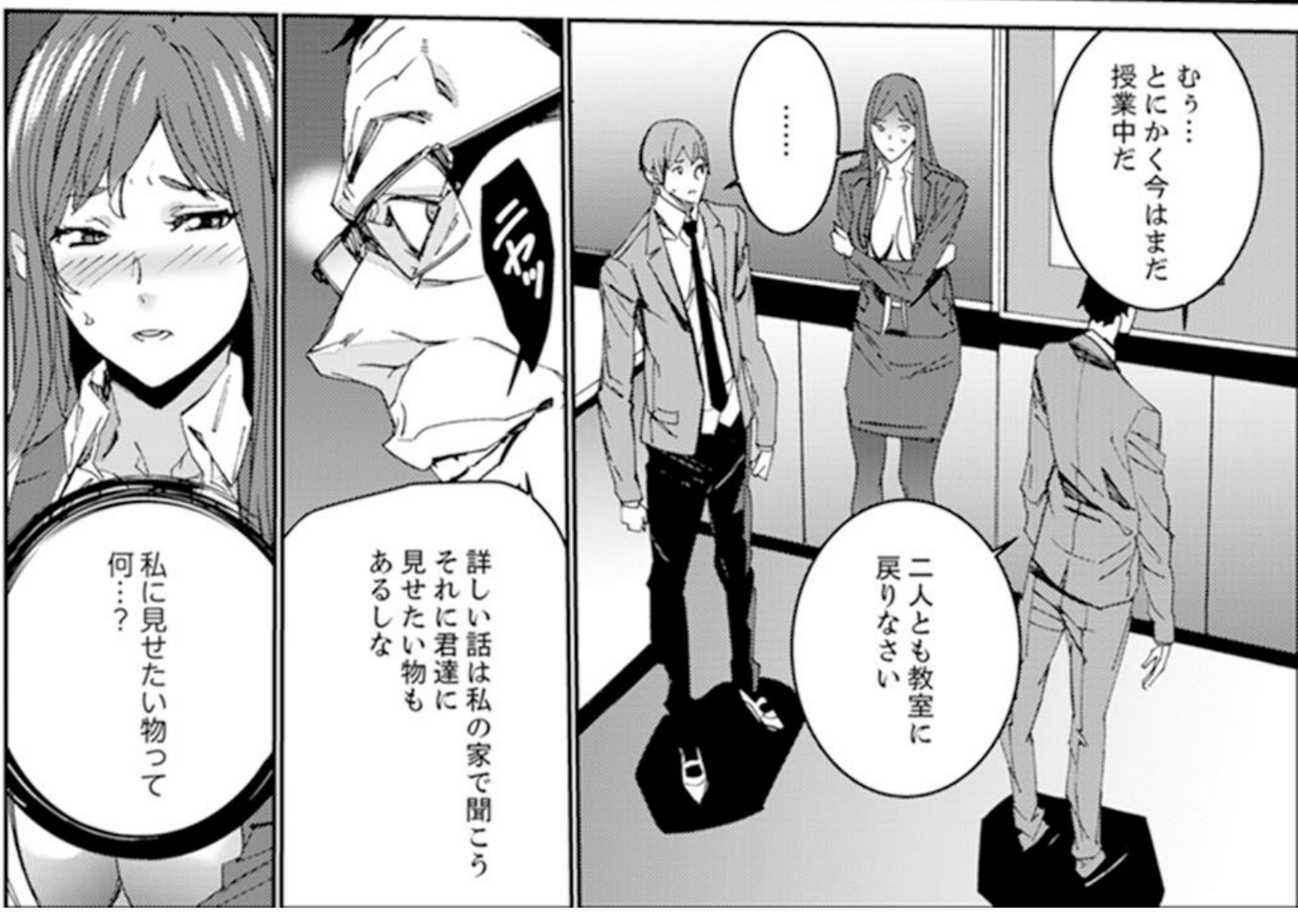

気持ち良かったんでしょ？
そんな事思ってないわ…！
私は…！
だめ！さっきのローターで刺激されてたから凄い感じる！
あっ
あっ
ビクッ
ビクッ
ブルッ
グイッ
グイッ
パンパン
パンパン


素直じゃないですねー
ペロッ
もうやめて！本当に誰かきちゃう!!
んあぁあっ!!
ビクッ
ギュッ


先生の大好きなチ●ポを入れてあげますよ
ちょっ！だめ!!
ビクッ
んっ
ビクッ
グイッ
我慢しなくていいんですよ
ちがっ…!!
!!
ズブブッ
先生の中ズルズルで熱いよ！
これ絶対イったでしょ!!
んぁあああっ！
こっこれは…

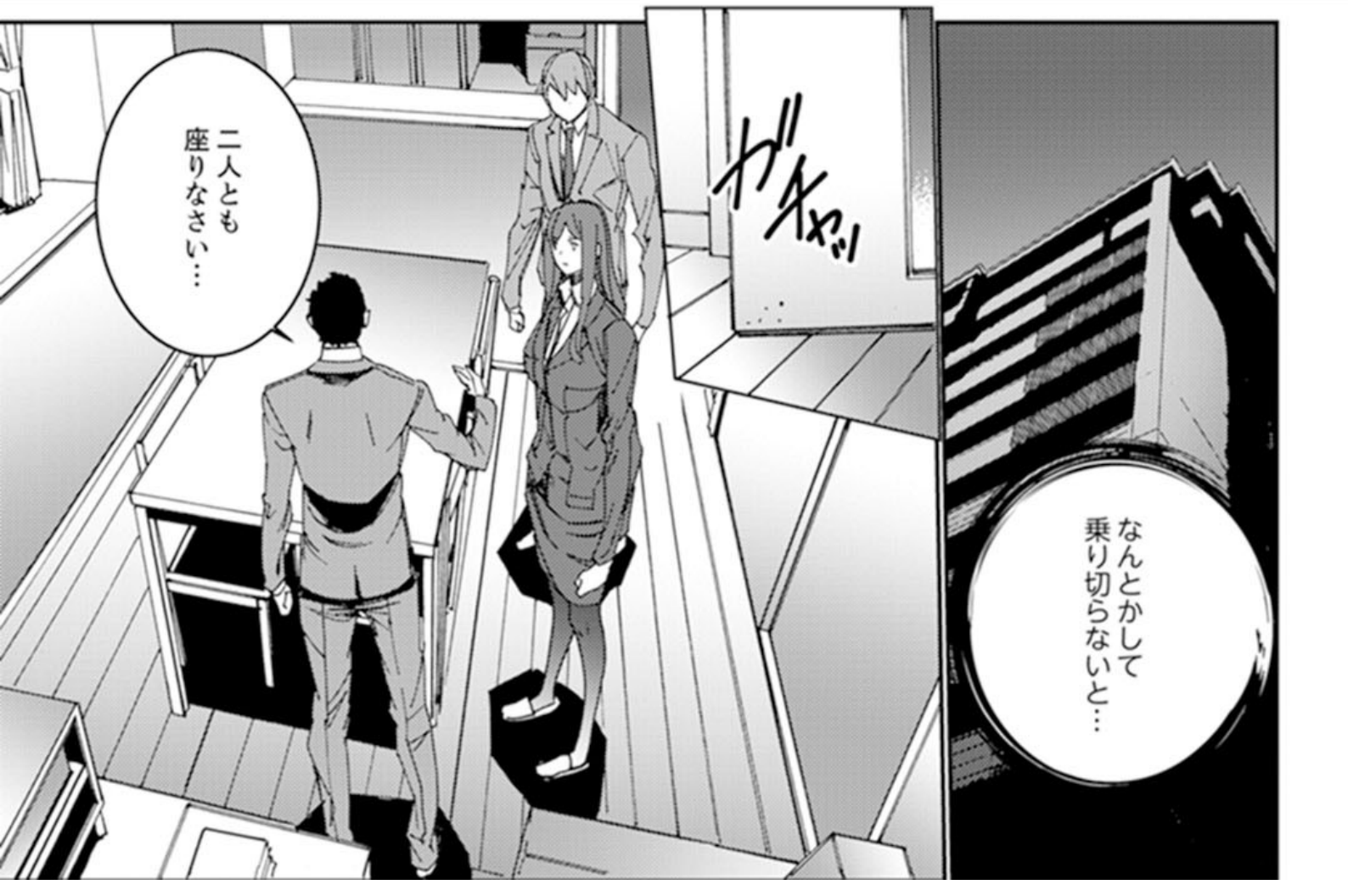

何してるんだ!!
ニヤリ
!!
ガラッ
ズッ
ズッ
教頭っ!!
ヒクッ
真冬先生…
これはどういう
ことなんだね!!
二人とも
ここは学校だぞ!!
スッ


しかも教師と
生徒がこんなことを!!
み 見られた…
……
どっ
どうしよう…
真冬先生!!
どういうこと
なんだね!
ガッ
キャッ!
キーン
コーン
カー


むぅ…
とにかく今はまだ
授業中だ
……
二人とも教室に
戻りなさい
ニヤッ
詳しい話は私の家で聞こう
それに君達に
見せたい物も
あるしな
私に見せたい物って
何…?


…
ゴッ
ヤツッ

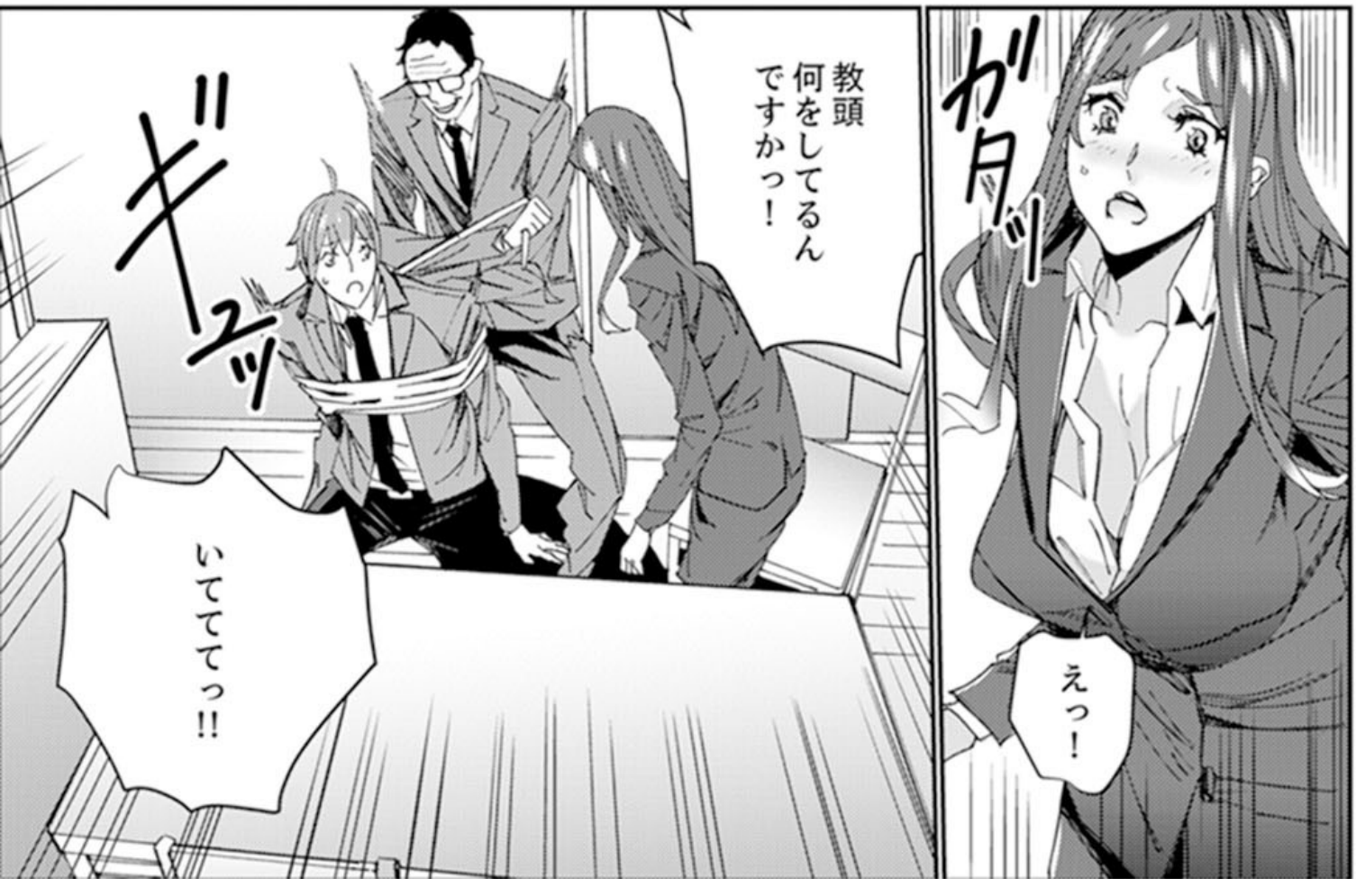
くそっ!!
まずった!
調子に乗って
見られるなんて
よりによって
教頭に…


ガチャッ
二人とも
座りなさい…
なんとかして
乗り切らないと…


こんな事に
なるなんて…
もう誤魔化し
きれないわよね…
でも元を
辿れば自業自得…
スッ
こんなことで
全てを失うなんて…
仕事も夫も…
…何か
いい手はないか…
この場を乗り切る
いい策は…


ふぅ…
まったく学校で
あんなことするなんて…
真冬先生には
失望したよ
はいい…
このままじゃ
二人とも退学に
解雇だぞ…
まぁ…


すべては私
次第だがね…
なっ!!
!!


教頭
何をしてるん
ですかっ!
えっ!
いてててっ!!


痛いって！
放せよ!!
よし
こんなもん
だろう!!
ガタッ
ガタッ
眞角君！
大丈夫!?
スッ
な、なんなん
だよ!!
スッ
まぁ
落ち着きたまえ
…真冬先生
え!?
ビクッ
グイッ


さぁ今後の事を
ゆっくり
話そうじゃないか…
ビクッ
あの…
ちょっと…
全ては君達の
態度次第だよ
真冬君…
ガタッ
ガタッ
オイ!!
何触ってんだよ!
こらこら
言葉づかいに
気をつけたまえ
あの…それ
どういう意味ですか?
君に見せたい物が
あるんだ…
スッ
?
教頭先生…
何を考えてるの?

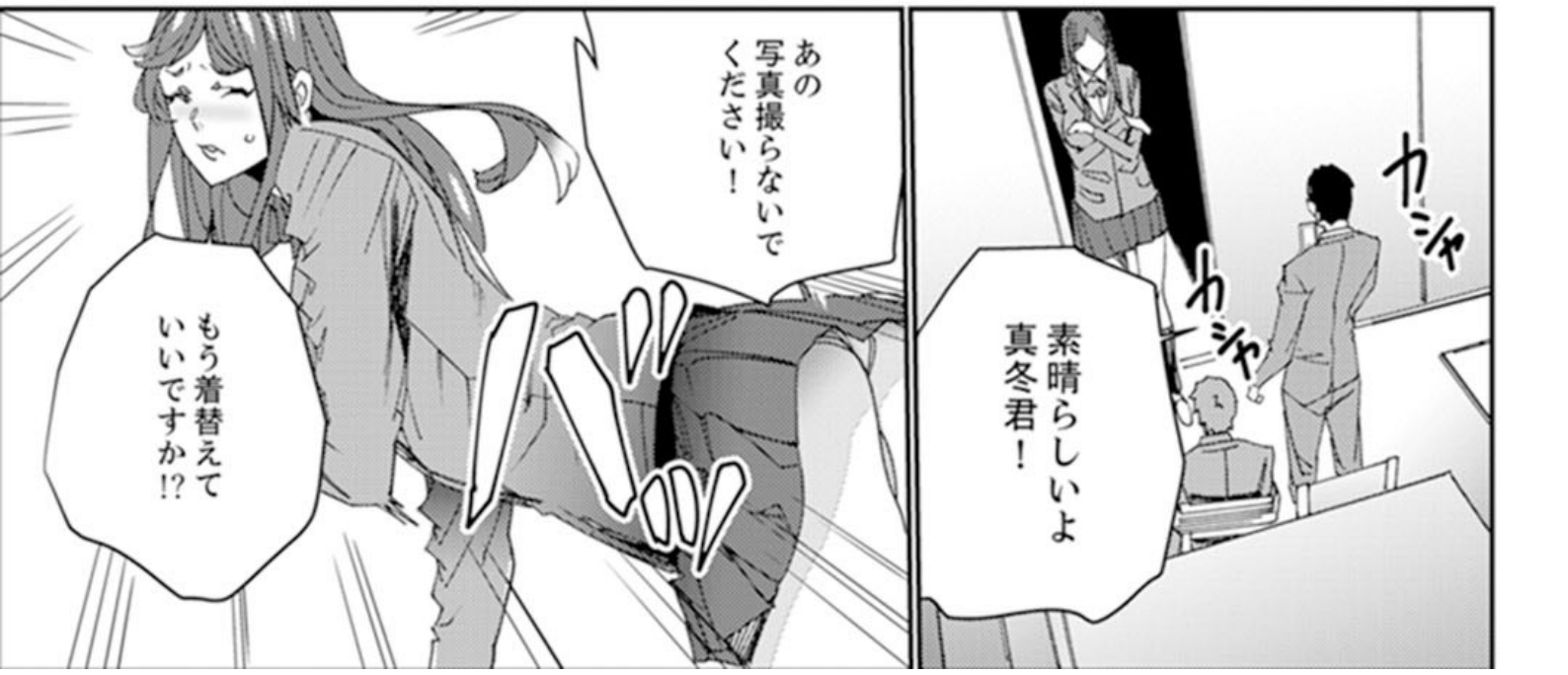

スッ
ガラッ
私の大切な物をね…
!!
な…
何これ…
全部私…
ニヤッ
私の宝物だ…
!!


はぁ
はぁ
ひっ!!
さてそこで
本題だ…
スッ
ビクッ
私は昔から
君のことが好きで好きで
仕方なかったんだよ！
スリッ
スリッ
私の理想の
女性なんだ！
若造には渡さん!!
レーゾッ
スッ
私の言うことを
聞いてくれれば
今日見たこと…
黙認してもいいよ…
私としても
君が解雇されることなんて
望んでないからね
グニッ


おい変態教師！
何する気だ!!
むっ
ガタッ
ガタッ
えぇい
うるさい！
誰に向かって
そんな事
言ってるんだ！
お前がどうなるかも
私の一存で
決まるんだぞ!!
そこで大人しくしてろ!!
くっ


それじゃ
真冬君…
まずは
これに着替えて
きてくれ
えっ…
それって…
何…？
スッ


スッ
あの
これでいんですか
…？
何年ぶりの
制服…
こんなの着せて
何する気よ…
生徒もいるのに
こんな格好させられる
なんて
恥ずかしい…
いいよ！
凄くいい!!
これだよこれ！
最高だ!!
制服姿っ！
あの頃を
思い出す…
カシャッ
カシャッ


カシャ
カシャ
素晴らしいよ
真冬君！
あの
写真撮らないで
ください！
もう着替えて
いいですか!?


やっ！
やめてください
教頭!!
その嫌がる姿も
いいなぁ
真冬君…
キャッ
まだだめだよ
これからじゃないか
はあっ
はあっ
グニッ
グニッ
グニッ
あっ！
やっ！
ウソでしょ！
教頭先生が
こんなことするなんて！
まさかこんな日が
くるなんて…
ひっ！
レロッ
先生！
あのっ手がっ!!
ゴソッ
ゴソッ
パオッ


キャアア!!
ブルンッ
ブチッ
これだよ
このおっぱい!!
私の想像通りの
素晴らしいおっぱい!!
君との事を考えて
何度オナニーした
ことか…
グニッ
グニッ
教頭先生っ!
何してるんですか!?
落ち着いてください!!
あっ!
やぁ!
クリッ
クリッ
いたっ!!
ギュッ
あぁ真冬君…
はぁはぁ…
ひっ!


だめ興奮して話し聞いてない…
キャ!!
バッ
お尻もプルプルじゃないか！
やだ！やめてください!!
スリッ
スリッ
胸も尻も順調に成長したね
キャアアア!!
ビクッ
クンッ
クンッ
クンッ
はぁたまらんなぁ…
やだお尻の臭い嗅ぐなんて最低…!!
ビクッ
ビクッ
ガタッ
いい加減にしろって教師が何してんだよ!!


ガキが生意気な！
お前に真冬君は
勿体無いんだよ!!
何だ真冬君の
彼氏面か!!
はあ…
はあ…
お前はそこで
しっかり
見ていればいい
くっ
ニヤッ
真冬君も
私の言うことを
聞いていれば全て
大丈夫だよ…
……
その方が
興奮するからな…
んっ！
ビヘッ
プッ


もう…
ドロ沼…
どんどん悪い
方へ進んでいく…
可哀相に
私が満足させて
あげるよ
グニッ
グニッ
ビクッ
ムニパッ
ムニパッ
うーん
美味美味！
人妻で生徒とも
関係を持つなんて
そんなに
溜まってるのかい？
んっ！
ちっちがっ…
う…
元をただせば
私の欲求不満の
せいで…


こんな事に
なってるのよね…
ニヤ…
おほっ！
やっと真冬君の
マ●コに会えた!!
トロ…
あっ
いいよー
キレイな
ピンク
色だ…


クチュ
ビクッ
あっ
どれこの溢れてる汁を頂いてみるかな
レロッ
凄いグチュグチュじゃないか…
ペロッ
あっ
やっ
ビクッ
ビクッ
翔太ごめん!!
んおぉ溢れてくるぞっ!
ガッ
チュプッ
チュプッ
チュプッ
美味しいよ真冬君!!
プハッ
ビクッ
あなたがいるのにこんな事になって…
ズチュクチュ
ビクッ
ズチュ
クチュ
んあぁあああ!!


こんな事
されちゃってるのに
もう…
どうしたらいいのか
わからない…
んあぁぁ!!
ズチュッ
ズチュッ
あっ
んっ


ギリ
くそっ！
真冬は
俺の物だぞ!!
さぁて
いよいよ真冬君の
中へお邪魔しようかな…
ひっ！


夢のようだよ
真冬君…
ジリッ
……
ジリッ
教頭先生…
ご自身の立場を
考えてください
そうしたいが
悪いがこいつが
言う事を
聞かなくてね…
ビクッ
ボロン
ビクッ


もう我慢
出来ないと
騒ぐんだよ！
ガッ
キャッ！
ビクッ
ひぃっ！
まさか
こんな日が来るとは
思ってなかったよ…
あの頃は…


キーン
コーン
カーン
コーン
本当に…
あの頃の君は私の憧れであり
ワクワク…
理想の少女だった…
……
キャ！
その姿はまさに天使!!
もー誰よ窓開けたのー!!
まぁ可愛い下着だこと…
やめてよー
若かりし日の
宮野　真冬（旧性）


同じく若かりし
国武　彰隆
（一般教員）
真冬の担任
ラッキー！
今日は付いてるな!!
あー可愛いよ
真冬君!!
おっ
こっちに
来るな…
サッ
あっ
先生っ
おぉ
宮野くん
次は音楽室かい？
はいっ
そうか
遅れるんじゃ
ないぞ
はい
失礼します


うわっ
まだこっち
見てる！
国武キモいよねー
やたら体
触ってくるし
セクハラだよー
教育委員会に
言ったらクビに
なんないかな？
そんな事いったら
可哀想だよー
ほら
行くよ！
ピクッ


ジーン
ニヤア
私の事を
かばって
くれるのは
君だけだよ
ガラッ
スッ
パタン
私はそんな
君が大好きだ…


だから
君の事を
もっと知りたいんだ…
ゴソッ
ゴソッ


これは…
真冬君の…
ブルマ…
はあ
グイッ
宮野
はあ
ゴクッ
メリ


スー
スー
スー
スー
スー
スー
あぁ真冬君の甘い香りが染み付いてる
最高だよ！あぁ私だけの物にしたいっ！
真冬っ!!
そんなある日の放課後…私は見てしまった…
ん？
まったく学校でイチャイチャしやがって!!
そうそうでさぁー
ガタッ
えー本当？
!!
スッ
んっ
ガタッ
んっ
誰だ！こんなところでヤってるのは…けしからん！


あ
グッ
むむっ
しかし
良い身体
してるなー
あっ
!!
グッ
あっセンパイ
だめですよ
クチュッ
クチュッ
人が…
きちゃっうぅ！
クチュッ
クチュッ
んっ
真冬くん…!!
んっ
チュパッ
チュパッ
グッ
そんな…
うそだろ…


ビクッ
あん
やぁっ！
んあっ!!
真冬君が
こんなこと
を…!!
ズプッ
ん
ズッ
ズッ
ズッ
んっ
あんなに
よがって…
そんな…
真冬君が
あんな姿に
されて…
やめろ!!


私の真冬君が…
チュパッ
別の男に汚されていく…
あっ!
あんっ♡
あんなに激しく腰を振って…
ズッ
ズッ
あっ!!
やめろー!!
ビクン
ズチッ
ズチッ
ビクンッ
んあああん!!
あふ…


あの時の私は
ただ見ているしか
なかった…
そして
自分には手の届かない
存在だと諦めたんだ…
だがあれから
数年たった今…
あの真冬君が
私の目の前で


こんな姿を
してるなんて
夢のようだ…
スッ
教頭！
こんなことが
世間に知れたら
あなただって…
さぁ
真冬君…
グッグッ


挿入(いれ)るよ
いっ
いやっ!!


やめろよ！
変態野郎!!
それは…俺の…
俺の？
ガタッ
ガタッ
それは
違うなぁ…
グッ
真冬君は私の物だ!!
ガキはそこで指を
くわえてみてろ!!
いやあぁっ!!
おぉ!!
これが真冬君の
中かぁー!!


んぁん
やぁん!!
くっ!!
んぁ!
んっ!
最高だよ
真冬君!!
どうだ!
若いのより
熟練した私の方が
いいだろ?
あ
あっ!
ヤダ!
凄い
激しい!
はあ
はあ
あっ


何!? どんどん大きくなってる! やだ私…
あっ
あっ
私の数年分の思いがこもってるからなー!
ギチッ
ギチッ
ん
感じてる…
ん
グニッ
グニッ
あぁ真冬君のおっぱい!
あん!
だめ身体が反応しちゃう…
レロッ
レロッ
くっ!
くそくそっ! それは俺のだぞ!
ばすっ
ばすんっ
あぁん
あっ


これでようやく
君は私の物だよ!!
はあ
はあ
あっ
違う!
その胸も
マ●コも…
俺の物
なんだ!
ん?
ズッ
ズッ


おやっ
くっ!
なんだ!
興奮してるのか?
ガターン
ガタッ
ギンギンじゃ
ないか!!
このオヤジ…
ぶっ飛ばしてぇー!!


どれ真冬君
我々の愛の行為を
見せつけて
やろうじゃないか！
眞角君も
見たがって
いるよ
君のいやらしい
姿を…
そんな…
生徒の前で
あなたっ…
教師でしょ!?
!!
だから若造を
教育して
やるのだよ！
やだみないで！
こんな近くで…
ギリッ
いやんっ
あっ！
ニヤァ


ホラッ!!
どうだ?
羨ましいか!!
あっ
あっ
ズンッ
もうお前には
絶対に渡さ
ないぞ!!
あっ
グッ
あっんっ
お、お願い…
みないで…
はあ
ガクッ
せっ
先生…
はあ
ガクッ
はあ
んっ?
ブーブー
ブーブー
ブー
ブー
ブー
私の
スマホ…


これは
真冬君の
携帯かな？
ブー
ブー
誰だこんな
時間に…
ちょっ…
教頭！やめて
ください!!
翔太
これは
誰かな？
ん？
ゴッ
ゴッ


翔太!!
帰りが遅いから
心配して…
ひょっとして
旦那さんかな？


どれ
出てあげよう
ニヤ？
もしもし
真冬？
!!
やめて!!
うそ！
本当に
出ちゃった!!
ピッ
ほら早く
何か言わないと
怪しまれるぞ
もしもーし？


……
ブッ
もっ
もしもし…
なんとか
ごまかして
早く切らなきゃ
あっ真冬？
帰り遅いけど
どうかした？
ごめん…
ちょっと職員会議が
長引いちゃってて…
うん…


ニヤッ
？
クルッ
!!
うそでしょ！
こんな状況で!!


ん…!!
声が出そう!!
だめ 絶対
我慢しなきゃ!!
……!!
そうなんだ…
遅くなるなら
迎えに行こうか?
へっ!!
いつも
そんな事
言わないくせに!
なんで
今日に
限って…
ギュッ
だっ
大丈夫…
まだ時間も
わからないし
お願い
このまま
バレないで!!


そうか…
じゃあ
いいけど…
帰り気を
つけてな
ホッ
う、うん
ありがとう…
ニヤア
ズッ
グイッ
!!
グイッ
んあんっ!!
…!!
何!?
今の声…
お前まさか…


どうしよう…
翔太に怪しまれてる
…っていうか
バレた…？
ヨーイ…
!!
ズッ
ズッ
ビク
ズッ
ビク
ズッ
ダメ！もう
声がでちゃう…
あっ


ゴキブリでも
でた？
真冬舎子だもんな〜
バ…バレて
ない…!?
ズッ
そうなの！
驚いちゃって！
ズッ
じゃあまだ
会議に戻らないと
いけないから
切るね…
ズッ


あぁそうか…
じゃあ頑張って…
ズッ
ズッ
ズッ
うん
ありがとう！
ビッ
……


良かった…
バレずに
済んで…
ホッ
おやっ？
もう切っちゃった
のかい？
チュポッ
ビクッ
んー何だぁー
バレなかったのか


おぉ怖い…
そんな顔しないで
くれよー
でもそんな
顔も…
キッ
ガッ
ガッ
いいよ!!
真冬くん!!
ズン
ズン
ズン
んっ
こっちはまだ
大丈夫じゃ
なかった…
こんな好き勝手されて
屈辱的過ぎる…
んあぁああ!!


もういや!!
やめて!
見ないで!!
旦那さんと
話してる時は
締りがキツくて
良かったよー
あっ
あ
真冬君も
興奮しただろ?
ズボッ
ズボッ
ズッ
ズッ
妬けちゃう
なぁー!!
でもこれからは
私のものだよ!
真冬君!!
いやぁあああ!
ビクッ
ビクッ
はぁ…
はぁ…
中に出さないでっ!!
ビクッ
ビクッ


……
クソッ！
クソクソ
クソクソ！
ｶﾁｬ
クソクソ
クソクソ
クソー!!
あいつ
許さない…
先生は俺の物
なんだ…
このままあいつの
思い通りにさせるわけには
いかない…
はっ！


ニヤア
はぁ…
まもなく2番線に
電車が到着します…
プシュー
プルルルル…
いつもと同じ
電車でいつもと
同じ風景…
昨日の事が
嘘のような
普通の日常なのに…


今後の事は気にしなくていいよ…
？
私の行動のせいでドンドン悪い方向へ向かってる…
君達二人を辞めさせるのは私も本意ではないからね
まぁ真冬君次第だがね…
あっ！
ドンッ
混んできたな…
ダメダメ切り替えないと…
ポンッ


ナッ
!!
ガッ
スッ
おはよう
真冬君…
きょっ
教頭先生…
どうして…
いいつもは車で通勤
でしたよね…
ニヤ
私も健康のために
電車で通勤してみようかと
思ってね


寝不足は
お肌に悪いから
なぁ…
昨日はよく
眠れたかい？
クニッ
教頭…
何してるん
ですか！
!!
ビクッ
モゾッ
グニッ
グニッ
んっ？
いやぁ人が多くて
動けなくてね
グニッ
モゾッ
グニッ


ちょ…
やめてください！
？
だめ他の人に
気づかれちゃう
!!
スッ
モゾッ
モゾッ
えぇ!!
こんなところで
大胆すぎでしょ!!
ニヤ
プルン
スル
スル


私が今騒いだら
あなたがタダじゃ
済まないんだから
ビクッ
モゾッ
何考えてるんですか！
ここ電車の中ですよ…
モゾッ
大丈夫だろ
真冬君…
さわっ
さわっ
君はそんなこと
出来る立場では
ないんだ
そうだろ？
はあ
はあ
ダメだ
全然動じない…


ん
ん
こういうのも
興奮するなぁ…
ビクッ
ドキッ
ドキッ
スルッ
スルッ
んっ
ビクン


なんだ
グチョグチョ
じゃないか
あっ
ビク
あ
あれ？何か
お尻に固い物が
当たってる…
やだドンドン
濡れていく…


!!
嘘でしょ!?
こんな満員電車で
出してるの!?
ビク
こんなにいやらしい
体を触ってたら
ギンギンに
なっちゃったよ
ボソッ
いやっ!
!!周りに
本当に気づかれ
ますよ!!
グイッ
!!
グッグッ
やだ!
これはもう声を
上げるしか
…でもそんなこと
したら…
ヌッ


おはようございます
ニヤッ
グッグッ
!!
思った通り！
ギリ
おおはよう
朝から楽しそうですねー
ぐぐっ
眞角君…
こいつならいつか大胆なことすると思ってつけてみたら案の定だ！
次は俺の番ですね…
スッ
!!


あなたは
そこで大人しく
見ててくださいよ
眞角君…？
グイッ
!!
先生…
ようやく俺の
元へ帰ってきたね
やっ！
ビクッ
グニッ
あんなオヤジに
汚されて…
俺が綺麗にして
あげるからね
モゾッ
イタっ！
グニッ
眞角君まで
ここでこれ以上する
気なの!?
モゾッ
クチュ


眞角君
やめなさ…
…
ビクッ
凄い顔…
怒ってるの
…？
教頭のことで…
ビクッ
ﾌﾞｯ
ﾌﾞｯ
ﾌﾞｯ
んっ!!


ガッ
ガッ
んっ
んんっ
本当に
入れちゃった！
電車の
中だよ…
二人共
おかしいよ！
理性が飛んでる！
ズッ
プル
ズッ
眞角君
凄く激しい…
声が…
んっ！
ズバッ
プル
ガッ
ガッ
んっ


くっ
ズッ
ズッ
ギリ
スッ
REC
ピコン
くそっ！こいつの
思い通りには
させんぞ!!
先生…
今マ●コの中を
綺麗にして
あげるからね
ズッ
ズッ
あっ


たっぷり
注いであげるよ!!
ん…
ビクッ
ビクッ
んあぁああ!!


もうやだ…
帰りたい…
グスッ
まもなく到着
します…
お降りの際は…
ニヤッ
ズロッ
ガクッ
ガクッ
くそっ！
こうなったら…
プルッ
プルッ


なぁ！
ツブッターで
気になる動画
見つけたんだけど…
なんだよ
どうせエロ動画だろ？
いやまぁ
そうなんだけどさ…
スッ
でもただの
エロ動画じゃないんだよ
これウチの学校の制服に
似てない？
んんっ？
うわっ
まじだ!!


やっと学校に着いた…
朝から何で
こんなハードな目に…
ボーッ
2人とも行動が
どんどんエスカレートして
いってる…
はっ!!
だめだめっ
もっとしっかり
しなきゃ!
もうきっぱりと
強い態度を
示さなきゃ!
スッ
キッ


朝は残念だったよ
教頭先生!!
ビクッ
ひっ!!
疲れた顔してるねー
私が癒して
あげようか?
今日の夜はどうだい?
2人で教育論でも
語り合おうじゃないか
これから授業なんで
失礼します
あのっ!
もうそういうのは
やめてください!!
…!!


そうこれでいいのよ決めた!!
もう連絡しないから眞角君もしてこないで!
私がはっきりした態度で対応しなきゃいけないんだ!!
もう眞角君との個人的なやり取りもしない!
ブーブー
!?
カラ〃〃
!!

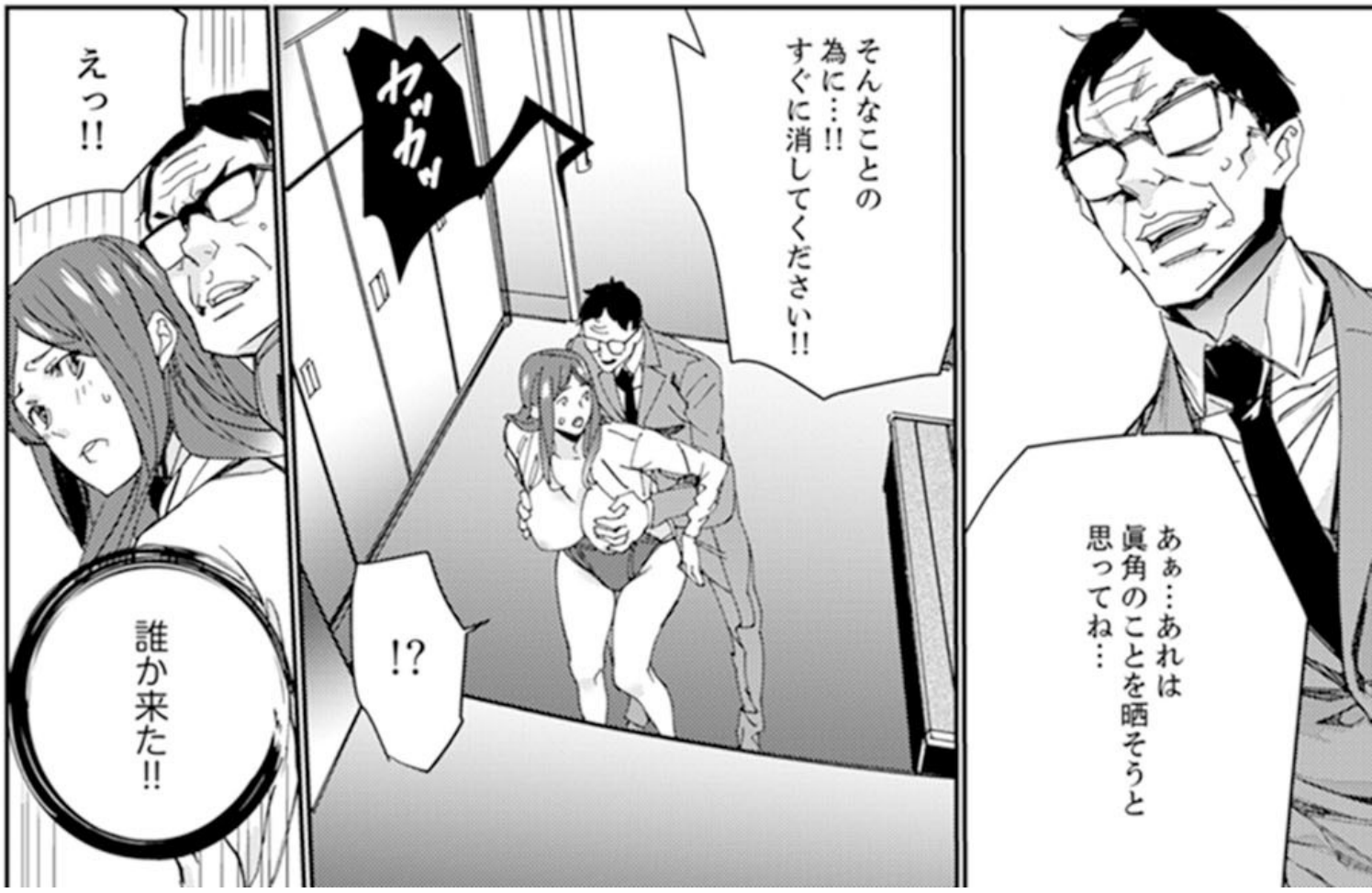

キーンコーン
カーンコーン。
なんで
思い通りに
ならないんだ！
……
くそ！
眞角君
怖い顔してたけど
これでいいんだ！
ふぅー
先生ー！
ドキッ
ちょっと
いいですか？
眞角君かと
思った…

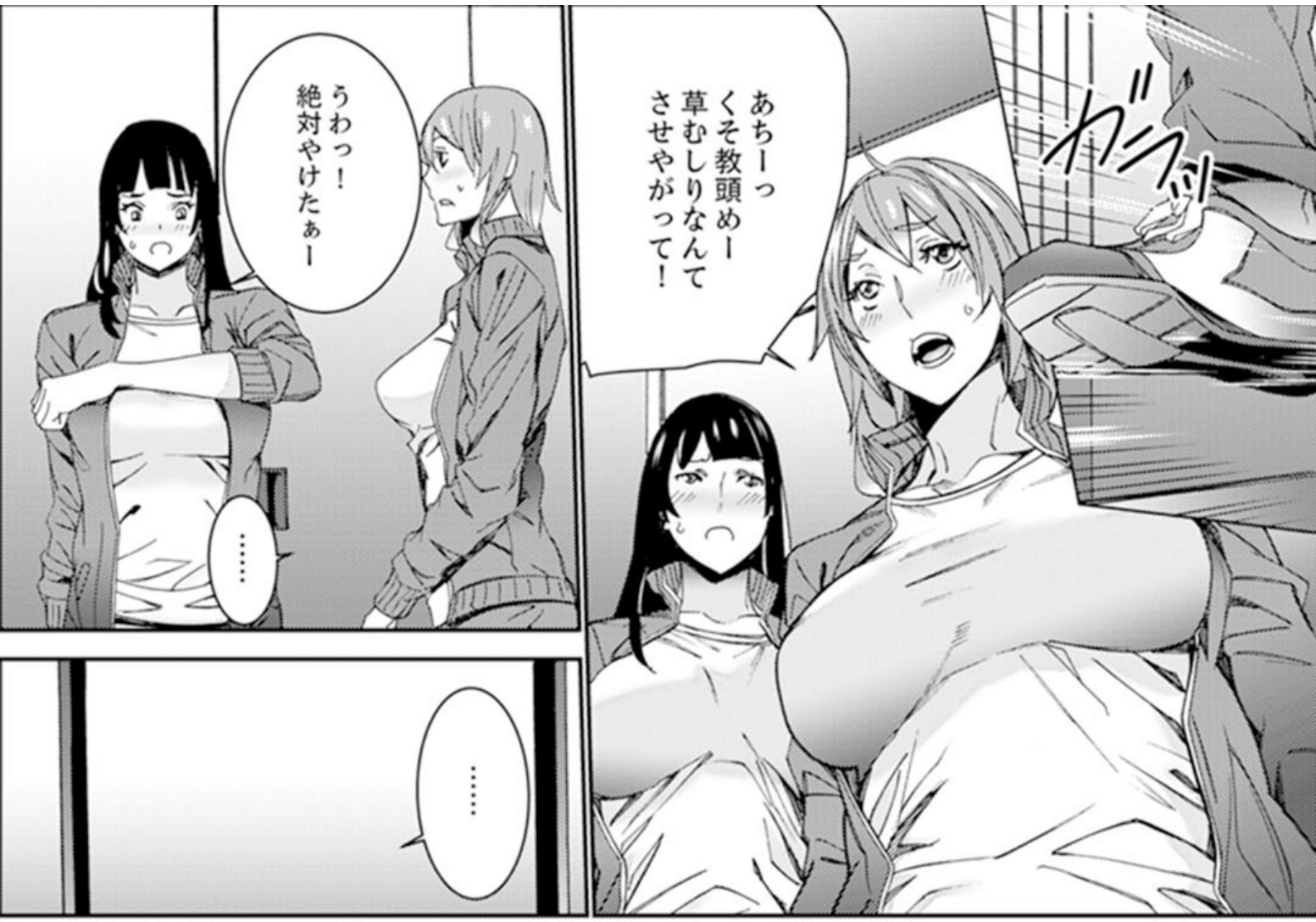

どうしたの？
授業でわかんないとこあった？
これなんですけど
スッ
先生に似てない？
!!
うそっ！
なんでこんなのが出回ってるの!!
あっ!!
ドキッ
ドキッ
ハラハラ
こら！
こんなのを学校で見るんじゃない!!
スマホ没収!!
えー
そんなっ!!
こんなの撮ったのは教頭しかいない…
先生ー
ごめんなさい


もうやだ…
次々と問題が
起きていく…
はぁ…だめだめ
これから部活
なんだから…
切り替え
ないと…
早く削除して
もらわないと…
どんどん拡散しちゃう
プリッ
でも2人に
なるのも
危険だし…
ガラ
いやっ
そんなこと
言ってられないか…


なっ!!
何してるんですか!!
ここは女子
ロッカーですよ!
やめて!!
ガタッ
!!
グイッ
そう冷たいこと
言わないでくれよ!
それにさっきの
態度はどういう
ことかな!!
キャッ!
んっ!!
クリッ
クリッ

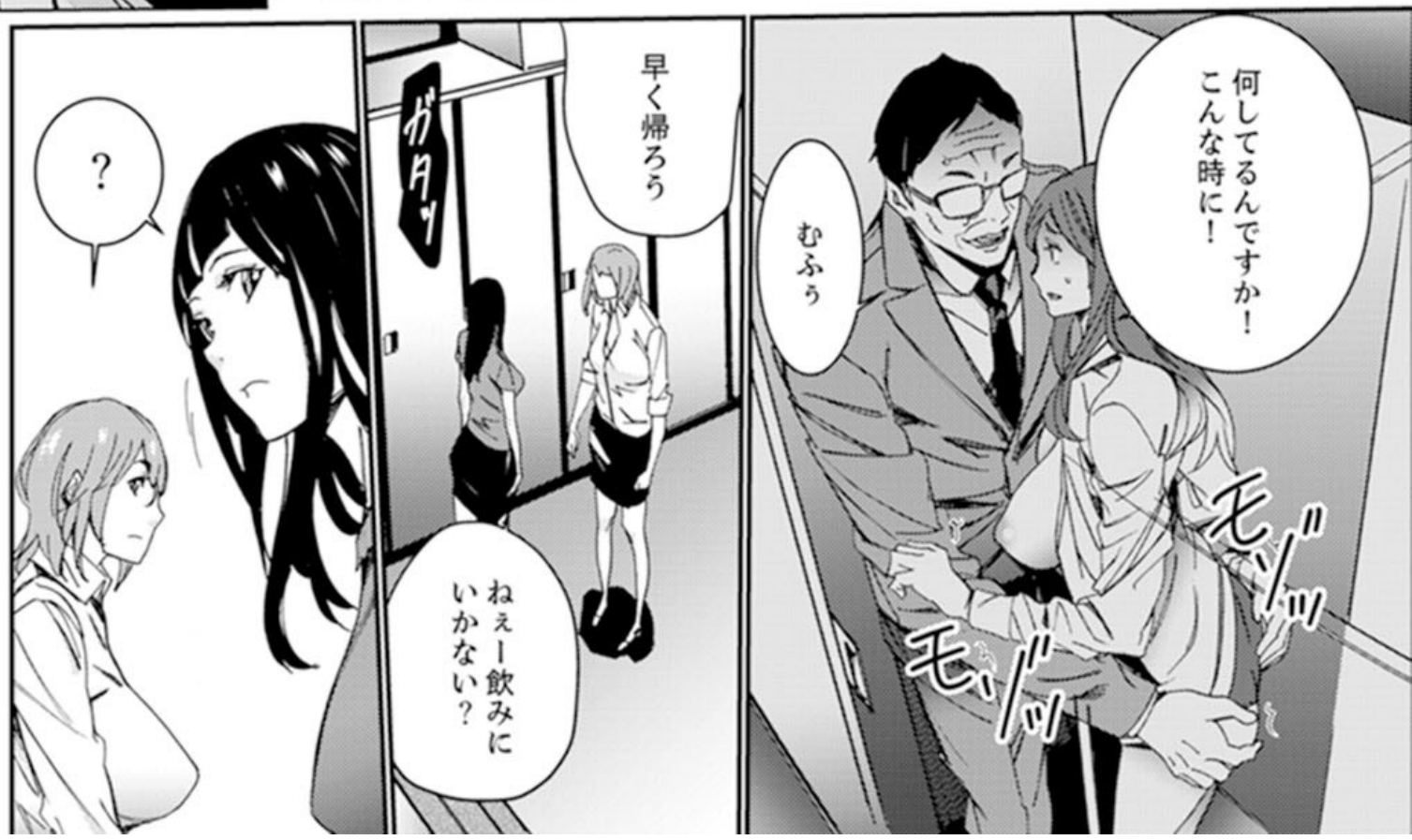

離してください！
水着姿も
たまらんなぁ
グッ
んっ！
今朝の電車での
動画をネットに
アップしたのは
教頭でしょ!?
ガシッ
なんで
あんなこと
したんですか！
もうウワサに
なってるんですよ！


あぁ…あれは
眞角のことを晒そうと
思ってね…
そんなことの
為に…!!
すぐに消してください!!
ワッカ
!?
えっ!!
誰か来た!!


あちーっ
くそ教頭めー
草むしりなんて
させやがって！
ガンッ!!
うわっ！
絶対やけたぁー
……
……


……
もー
絶対シミになるー!!
なんとか
隠れたけど…
これから
どうしよう…
ドキッ
ドキッ


ちょっ！
!!
スッ
ハァハァ
えっこんな時まで
変なことっ!!
ニヤア


何してるんですか！
こんな時に！
むふぅ
モゾッ
モゾッ
早く帰ろう
ガタッ
？
ねぇー飲みに
いかない？


しまった!!
え?
何…?
まずい
まずい!!
ガチャ
①
もう
終わった…
スッ
何の音…?
よし
飲むぞー!
バタン
ひぃー!!
何もないか…
ドキッ
ドキッ
ドクドク


本当に何考えてるの!!
何って…
スッ
せっかく手に入れたんだ…
もう誰にも…
誰にも渡さないぞ!!
キャッ!!


んっ！
グッ
ビクッ
目がイっちゃってる…早く…逃げないと…
いっいや
さぁまた楽しませてくれよ
レロ
真冬君!!
グッグッ
んんんっ!!
あっ!!


すごい激しい！
奥まであたって
かき回されてる！
んあぁ！
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
いいぞー
真冬君!!
どうにかして
逃げないと…
どうなるか
わかんない…
君の中は
最高だ!!
!?
もう
いい加減に…!!
して!!
ガッ
!!


逃がさないよ
真冬君…
うぅ…
ヨロ…
タッ
はあ
はあ
思い切り
殴っちゃったけど
大丈夫よね…
はあ
それより
どうしよう
こんな格好じゃ
外にいけない…
!?
はあ


とりあえず
体育館に
隠れよう…
キャッ！
えっ!!
キャッ！やだ
離して!!
やめなさい!!
眞角くん!!
いやっ！


先生…
さっきの
メッセージは
何？
また私
間違った
選択しちゃった？
ギュッ
んぁっ！
イタイッ！
ガッ
そんなこと言える
立場じゃないよね!?
んっ
チュプッ
勝手なことは
許さないよ！
チュパッ
んっ
だめっ!!
もう決めたんだからっ！
レロ


本当にいいの？
本当はやめてほしくないんでしょ？
なっ!!
んあっ!!
電車の中でやられてイってたくせに!!


んぁっ
気持ちよかったんでしょ？
あんなにビクビクしてたもんね!!
ちっ違う
私は…


素直になりなよ…
グイッ
自分は変態だってさ
グッグッ
あっ
ちっ違う私は…そんなこと…思ってない…
あっ
ビチ
ビチ
でも…感じてたのは…
あっ
んあぁああ！
こんなに濡らして楽しんでんじゃん!!
ああああっ!!
いやっそんなの認めない!!
ズッ
ズッ


ホラ
認めちゃいなよ!!
わ…私は…
楽しんでなんか…
んあっ!!


プルルル
プルルル
只今
電話に出ることが…
最近真冬の
様子がおかしい…
帰りも遅いし…
何してるんだ
…真冬…


いやっ!!
離して!
こんなことしてる
場合じゃないのよ!
グンッ
あっ
ばすっ
あっ
ばすっ
ダメッ
ビクッ
ビクッ
ヤバイ!!
この子
私の気持ちいいとこ
わかってきてる!
ニヤッ
全身が
しびれてくる!!
ズッ
ズッ
ズッ
教頭も近くにいて
こんな事してる
場合じゃないのに…
んあぁああ!!


ホラこんなに
乳首立てちゃって…
グリッ
グリ
あっ
ビクッ
あっ入れながら
そんなこと
されたら…
すごく…
ズッ
ズッ
あ
気持ちいいんでしょ？
グシッ
グシッ
んっ
感じちゃう!!
んんあっ!!
カッ
ビクッ


あーお腹すいたぁー
帰りなんか食べて行く？
あっ私ピザ食べたーい！
いいけどまた
太るよ？
ヒドーイ!!
まっ眞角君!!
やめて誰かきた!!
もうだめ
だって
眞角君!!
本当にだめだって!!


いいね！
興奮するじゃん!!
んっ
んっ
何言ってるの！
これ以上バレたら
もう私達…
終わっちゃううんっ!!
ズッ
ズッ
この状況で
激しくなってる!!
はぁっ
はぁっ
ん
ばすっ
ばすっ
んっ


んっ！
クッ
ズッ
ズッ
!!
ひっ!!
んっ！
ズッ
ズッ
んぁっ!!
!!
ビクッ
今何か声しなかった？
え？
んっ？


なんか女性の呻き声みたいな…
それって…
ドキッ
ドキッ
まさか…
ピクッ
ゴクッ
こわいやつじゃないの!!
!!
…どっか行った?
何とか…
やり過ごせた…?
キャアアアッ!

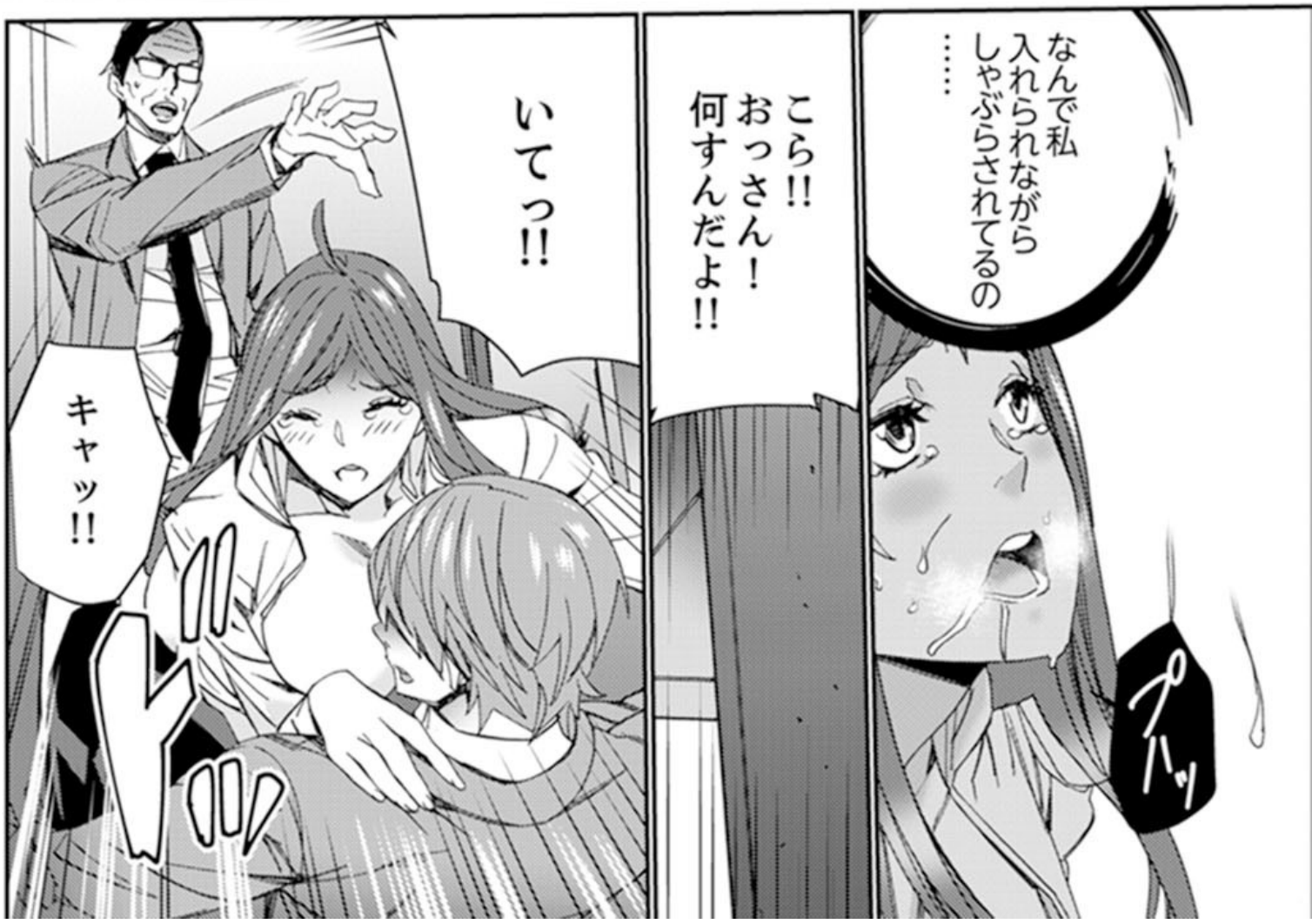

バレなくて良かったね
先生…でも
変だなぁ
こんな状況なのに
こんなに
濡れてるじゃん
ビクッ
ビクッ
あっ
先生も
興奮したんでしょ？
変態だもんね
ビクッ
もう普通のセックスじゃ
満足しないでしょ？
ちっ違う
私は…
ガラッ
!!
こんなところに
いたのかい？
私から逃げたと
思ったら…
真冬君…
そんなに
そのガキが
いいのか!!


許さん!!
許さんぞ!!
!!
教頭!!
ギッ
ギッ
職員室
あぁ平賀先生の旦那さん!! こりゃどうも!
妻がお世話になってます
いえいえ平賀先生ですよね?
それが部活にいったきり戻ってこないんですよね… もう終わってるはずなんですが…


そうなんですか…
ちょっと見てきてもいいですか？
えぇ
どうぞどうぞ
真冬…
さぁこっちにくるんだ！
そんなガキのどこがいいんだ!!
ち違います！
私そんなんじゃないんです!!


そうだ!!
これは俺のだ!!
キャッ!
ガッ
おっさんは引っ込んでろ!
んあっ!!
ち違う!!
真冬君は…
ガッ
私のなんだ!!
んっ!!


なっ!!
勝手に何してんだよ!!
んっ
んっ
うそ!!
何これ…


なんで私
入れられながら
しゃぶらされてるの
……
こら!!
おっさん!
何すんだよ!!
いてっ!!
キャッ!!
プハッ


!!
グッ
えっいや!!
そこ違う…!
ニヤア
だっだめ!
スッ
そこは…
グッ
ひぐっ!!
んぁ!


えっうそ
入れられた!!
今私に二本入ってるの?
!!
ズボッ
ズボッ
あっ
もうわけ
わかんない…
んあっ!!
二本が中で
暴れてる!!
ズボ
ズボ
何してんだよ
おっさん!!
離れろって!!
バンッ
バンッ


あっ
くっ!!
どうだ!!
真冬君!!
私の方が
大きくて
気持ちいいだろ!!
あっ!
くっ! 何言ってんだ!
そんな年老いた
チ●ポじゃ!
あっ
んっ
こいつは
満足しないんだよ!!
!!
んあぁあああ!
フン!!


若造が!!
お前の子供騙しの
テクニックで真冬君が
満足するわけないだろ!!
何言ってるんだ
フニャチン野郎!!
そんな年寄りの
チ●ポじゃ
奥まで届くもんか!!
ダメだ意識が飛びそうに
なってきた…
でもなんか
これって…
どうして
2人してこんなに
私にこだわるの…
何これ何これ
何これ!!
こんなのあり得ない!!
あっ
あん
んっ
んっ!


気持ちいいっ!!
あっ
んっ
無理やり
こんなことされてる
のに…?
私…
満たされてる?
んんっ!!


こんなに求められて……
私の方が！
俺の方が!!
ズッ
ビク!!
ズッ
んあっ
ドッ
快感っ!!
先生
真冬君を
満足させられるんだ!!


はぁ
ガシッ
ビクッ
ビクッ
スッ
はぁ


?
なんか面白そうなこと
してるじゃん
!!
俺達も入れてくれよ…


もう皆にバレちゃって私の人生終わった……
あっ
ガッ
すげーよ平賀先生とやってんだぜ！
なんでこんなに満たされて気持いいの!?
なのになんで
これなの？私が求めていたことは!!


キョロッ
真冬…
ガタッ
スッ
ガタッ
どこにいるんだ
ガニッ
ここか…？
真冬…!!
しょ…翔太…
どうして…
あっ
…ごめんなさい
……
私…
もう
戻れない…





ドキドキの数だけ
エッチがある







かわいい女の子に心も体も満たされて…♥


目が離せないHな女の子てんこ盛り
Hな刺激1000%!!
Hな大人のための電子コミック
エロマンガ島
新作・人気作が大好評配信中!

エロマンガ島

人妻教師狩り
～先生、旦那の前でこんなに濡れてますよ？
【完全版】

発行日　2018年 12月 1日

著者　OUMA

発行　モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© OUMA 2018